|  |  |
| --- | --- |
| ユースケース名 | ログインする(UC001) |
| 目的（ゴール） | 教員がシステムにアクセスするために、認証を行う |
| アクター | 教員 |
| 開始条件（起動トリガー) | システムにアクセス要求 |
| 事前条件 | 有効なアカウントが作成済みである事  システムが稼働している事 |
| 事後条件 | 教員が正しい認証情報を入力し、システムにアクセスできる |
| 拡張点 | なし |
| 関連ユースケース |  |
| メインフロー | １．教員がシステムにアクセスし、ログインページに移動する。  ２．システムがユーザー名とパスワードの入力を促す。  ３．教員が認証情報を入力する。  ４．システムが認証情報を検証し、正しければダッシュボードに移動する。 |
| 代替フロー | 3a. 認証情報が間違っている場合、システムはエラーメッセージを表示し、再入力を求める。 |
| 例外フロー | 4a. 認証サーバーに接続できない場合、エラーメッセージを表示し、サポートへの連絡を促す。 |

|  |  |
| --- | --- |
| ユースケース名 | 対象授業を選択する(UC002) |
| 目的（ゴール） | 教員が管理する授業の出席データを閲覧・編集できるようにする。 |
| アクター | 教員 |
| 開始条件（起動トリガー) | 教員がシステムにログインし、管理する授業を選択する。 |
| 事前条件 | 教員がログイン済みであること。 |
| 事後条件 | 教員が選択した授業に関連する出席データが表示される。 |
| 拡張点 | なし |
| 関連ユースケース | UC001: ログインする |
| メインフロー | １．管理する授業のリストが表示される。  ２．教員が授業を選択する。  ３．システムが選択された授業の出席データを表示する。 |
| 代替フロー | 2a. 授業が授業リストにない場合、エラーメッセージを表示し、再度選択を促す。 |
| 例外フロー | 3a. データベースが一時的に利用できない場合、システムはエラーメッセージを表示し、後での再試行を促す。 |

|  |  |
| --- | --- |
| ユースケース名 | 出席データを閲覧する(UC003) |
| 目的（ゴール） | 教員が選択した授業の出席データを確認する。 |
| アクター | 教員 |
| 開始条件（起動トリガー) | 教員が対象授業を選択した後、出席データを閲覧する。 |
| 事前条件 | 教員がログインし、対象授業を選択済みであること。 |
| 事後条件 | 選択された授業の出席データが表示される。 |
| 拡張点 | なし |
| 関連ユースケース | UC002: 対象授業を選択する |
| メインフロー | １．システムが授業の出席データを表示する。 |
| 代替フロー | 1a. 出席データが存在しない場合、エラーメッセージを表示。 |
| 例外フロー | 2a. データベースが一時的に利用できない場合、システムはエラーメッセージを表示し、後での再試行を促す。 |

|  |  |
| --- | --- |
| ユースケース名 | 出席データを訂正する(UC004) |
| 目的（ゴール） | 教員が誤って記録された出席データを訂正できる。 |
| アクター | 教員 |
| 開始条件（起動トリガー) | 教員が訂正要求した場合 |
| 事前条件 | 教員が対象授業の選択をしており、出席データが表示されていること。 |
| 事後条件 | 出席データが訂正され、最新の状態が保存される。 |
| 拡張点 | 出席データを訂正する |
| 関連ユースケース | UC003: 出席データを閲覧する |
| メインフロー | １．教員が修正が必要な項目を選択し、訂正を要求をシステムにだす。  ２．システムが訂正内容を保存し、訂正後のデータを表示する。 |
| 代替フロー | 3a. 訂正内容の保存に失敗した場合、エラーメッセージを表示し、再度訂正を促す。 |
| 例外フロー | 3a. データベースが一時的に利用できない場合、システムはエラーメッセージを表示し、後での再試行を促す。 |

|  |  |
| --- | --- |
| ユースケース名 | 免除処理をする(UC005) |
| 目的（ゴール） | 免除条件に該当する学生に対して出席免除の処理を行う。 |
| アクター | 教員 |
| 開始条件（起動トリガー) | 教員が出席データを閲覧し、免除対象の学生を特定した場合。 |
| 事前条件 | 免除に関するルールが設定されていること。 |
| 事後条件 | 免除処理が完了し、出席データに反映される。 |
| 拡張点 | なし |
| 関連ユースケース | なし |
| メインフロー | １．教員が出席データを閲覧し、免除対象の学生を選択する。  ２．教員が免除処理を実行する。  ３．システムが免除処理を保存し、出席データに反映する。 |
| 代替フロー | 2a. 免除処理に失敗した場合、システムがエラーメッセージを表示し、再度実行を促す。 |
| 例外フロー | 3a. データベースが一時的に利用できない場合、システムはエラーメッセージを表示し、後での再試行を促す。 |
| 備考 | 事前に免除条件と、対応授業等のルールの策定をシステムに行っておく |

|  |  |
| --- | --- |
| ユースケース名 | 出席情報をメールで受け取る(UC006) |
| 目的（ゴール） | 生徒が自身の出席情報を定期的にメールで受け取る。 |
| アクター | 生徒 |
| 開始条件（起動トリガー) | システムが1日に1回、出席データをメールで送信するスケジュールが設定されている。 |
| 事前条件 | 生徒がシステムに登録されていること |
| 事後条件 | 生徒が出席情報をメールで受け取る。 |
| 拡張点 | なし |
| 関連ユースケース | なし |
| メインフロー | １．システムが1日に1回、出席情報をメールで送信する。  ２．生徒がメールを受信する。 |
| 代替フロー | なし |
| 例外フロー | 1a. データベースが一時的に利用できない場合、システムは生徒にエラーメッセージを送信し、後での再試行を促す。 |

|  |  |
| --- | --- |
| ユースケース名 | 生徒が出席情報を登録する (UC007) |
| 目的（ゴール） | 生徒がNFCカードリーダーを使用して出席情報を登録する。 |
| アクター | 生徒 |
| 開始条件（起動トリガー) | 生徒がNFCカードリーダーに学生証をかざす。 |
| 事前条件 | カードリーダーが正常に動作していること。  生徒の学生証が有効であること。 |
| 事後条件 | 生徒の出席がシステムに自動的に登録される。 |
| 拡張点 | なし |
| 関連ユースケース | なし |
| メインフロー | １．生徒が学生証をNFCカードリーダーにかざす。  ２．システムが学生情報を読み取り、出席として記録する。 |
| 代替フロー | 2a. 学生証が無効な場合、システムがエラーメッセージを表示し、処理を中止する。 |
| 例外フロー | 2a. データベースが一時的に利用できない場合、システムはエラーメッセージを表示し、後での再試行を促す。 |